

# 令和4年度 横浜市立本町小学校 第1回学校運営協議会 記録

日 時: 令和4年5月14日(土) 10:00~11:15



## 1 開会挨拶

## 2 自己紹介

## 3 委員委嘱

## 4 役員選任

会則が3-1にある。それに則り、会長及び副会長を選出・依頼。→承認。

## 5 会長挨拶

- ・コロナ禍で、地域と学校のつながりが切れている。ケアプラザなどから、本町の若いパワーをもらえない。
- ・コロナの前までは毎月ふれあい給食があった。地域や先生とのつながりがなくなってしまった。
- ・集まることが難しくなっている。さみしい。
- ・今年、野毛大道芸の統括になったが、何も行事ができない。
- ・地域の方から学校に声をかけていこうということになった。
- ・地域と学校が、これまでの付き合いを継続していきたい。

## 6 今年度の学校運営について(校長)

### ○学校教育目標について

- ・中期学校経営方針の一部;9年間で育てたい子ども像を横浜吉田中学校ブロックで共有していく。

### ・教職員の働き方改革

例) 週の見通しをもてるよう、打合せを(木)から(月)に移行。

準備者・参加者も余裕をもって臨めるよう、会議を(月)から(火)に移行。

週の初め(月)に子どもの様子を丁寧に見とれるよう、朝会を(月)から(金)に移行。

ミライム、教科担任制の活用継続。

5学年だけ2クラス。今まで担任3人でやっていた業務を2人でやる。そこに1人補助教員を配置。

児童の発達年齢、体力面を考慮し、授業時数、標準時数に余剰が出すぎないように、年間計画を立案。

- ・今年度も、文部科学省から生活・総合的な学習の研究指定を受けている。

- ・児童に対して、携帯電話の指導;学校で教えること、家庭で伝えるモラル…PTA、奨励会とも連携。

### ○令和3年度学校配当予算決算報告について

### ○新型コロナウイルス感染防止対策について

- ・感染拡大当初は「怖い」という意識→状況が分かってきた。理解をした上で行事を計画。

- ・昨年度は宿泊を中止。今年度は宿泊を予定するが、健康観察の面での丁寧な対応も必要。

- ・まん延防止等重点措置が発令された場合、活動は県内のみと制限されるので、全学年、神奈川県内を計画。実施の時期を全学年10月に集中。

- ・水泳;1クラス毎に実施。教育ボランティア(スポーツ指導員や教員経験者)の活用。

- ・「やれない理由」を出すのではなく、「やれる理由」を出し計画をしていく。

### ○「響き合い輝く未来へつながろう」

- ・昨年度、全教職員で考えた令和4年度~6年度のスローガン。家庭・地域と一緒に達成していきたい。

- ・学校が安全、安心、充実、豊かであってほしいと願っている。教職員もそうでありたい。

## 7 質問・ご意見・情報等の提供(委員名略)

- ・ここ2年間、宿泊経験がない。

→以前は初めての宿泊体験をする4年生に指導していたことを6年生にも指導する。

- ・教科担任制を導入しているとのことだが、成果はどのようなだろうか。

→25年位前、本町小学校が日本で初めて教科担任制を導入した。

「〇組の担任」ではなく、「〇年生の担任」という意識。  
チーム学年経営。教員の得手不得手を生かしていく。  
教材の準備が丁寧にできる。業務改善につながる。  
子どもも、自分が話しやすい先生を選んで相談できる。  
時間割の作成、調整は、融通が利かず難しい面もある。  
→教員が学年全体の子どもの把握できるので、子どもの様子を互いに理解しながら話ができる。  
クラスを越えて遊べる、関わりがもてる。関わりが固定してしまわなくてよい。

- ・教科担任制、児童指導支援専任の導入は、横浜発で全国に広がってきている。
- ・教科分担任(横浜市の称)は、一人の子どもの複数で関われる。教材研究の時間が確保できる。
- ・国は、算数・理科・英語・体育を教科分担で進めるよう要請。横浜は、柔軟に対応している。
- ・デメリット;小学校での教科分担任  
→一人の教員が教えない教科が出てきてしまう。違う見方をすると、専門性が高まる。

- ・昨年度子どもが算数でコースに分かれて学習した。自分でコースを選べてよかった。
- ・子どもはやることはしっかりやっている。委員会の話もする。勉強以外にも刺激になっている。

- ・今、新任の校長先生に助言をする仕事をしている。  
この頃、コロナ禍で行事をどうしたらよいかという話題がよく出る。  
初めに学校が方向性や学校としての姿勢を見せる。  
コロナの中で行事を行う。それを保護者に理解してもらわなければならない。  
子どもたちに、「じゃあ、どうしたらいいかな」と考えさせるいい機会。  
分かっている情報を早めに子どもたちに与えて、考えさせる。主体的な良い学びができる。

- ・地域の祭りで校庭やピロティを使うかもしれない。メンバー長の立場としてお願いに伺う予定。  
→夏休みのラジオ体操を実施するかなど、地域主体の行事については、地域の趣旨に従い、協力する。

- ・スクールゾーン対策協議会では、毎回同じ問題で話し合っている。その場でどんどん意見を言ってほしい。

- ・以前はコロナに感染することは大変なことだったが、今は感染するのが当たり前。とはいえ、感染が広まらない策を学校で講じる。

## 8 今後の予定について

- ・第2回;学校参観、第3回;全職員が参加して討議、第3回;2月に意見交換/学校評価

## 9 閉会挨拶